

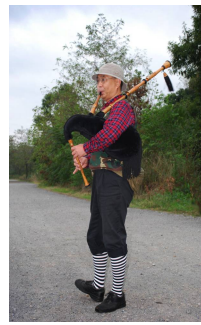


くまがや市民活動  
ふれあいネットワーク  
どんぐり部会  
責任者：依田悦代  
048-524-7953  
どんぐりサイト  
www.ecokuma.com  
メールアドレス  
info@ecokuma.com

## 2010年10月9日どんぐりの種まきから熊谷の木陰づくりを

### 約130名が行動の一步を！

怪しげな空模様の早朝7時、「くまがや市民活動ふれあいネットワーク」(以下ふれネット)のメンバーが荒川大麻生公園野鳥の森に集合しました。いつもながらのチームワークの良さで、テント設営、ステ看設置、どんぐり仕分け、煮ぼうとう準備、受付の準備などテキパキとこなし、8時には、講師で樹木医、また自然観察指導員の肩書きももつ藍造園社長宮下良夫氏が、軽トラに土を山盛りにして到着。また、バクパイプのボランテイア演奏を申し出て下さった滑川町の横田誠三氏もおいでくださいました。



### 「どんぐりは、どこから芽が出ますか？」の問いに数十名は???

講師の宮下氏に落ちた時のように寝かせてポットに蒔けばOKと教わり、ふむふむと納得し作業にとりかかりました。

今回は、班ごとに分かれ、トラックから土をポットに入れて、クヌギ、コナラ2種類のドングリを別々のポットに蒔きました。どんな風に芽が出てくるのか、親子で語り合い、友達同士で笑いながらの作業に、何故か雨が降ってきて心は晴れやかなひとときでした。

「僕の里親になつてくれてありがとう。来年の春、芽が出る

ように頑張るよ。」とどんぐり君が人間には聞こえない森の言葉で呟いていましたよ。

作業を終えた人から暖かな煮ぼうとうを頬張り、皆満足そうに笑顔<sup>(^^)</sup>。みんなで食べる外ごはんって美味しいですね。

こんな訳で、森の中の第1回種まきイベントが終了しました。参加して下さいました皆さん、ありがとうございました。

### 種まき



煮ぼうとう

### どんぐり君、久下新川の畑で春を待つ

ドングリ蒔きイベント翌週の日曜日、10月17日には、ふれネットメンバーによる残りのどんぐり蒔きが行われました。

この作業は、イベントの当日午後行いう予定のものでしたが、午後は本格的な雨降りになってしまったため延期しました。

久下新川の畑は、「新川菜園村」と子ども遊びの森」メンバーの管理地で、点在する屋敷林跡地の中にあり、天気の良い日には、遠く富士山も見えるような広々とした荒川河川敷です。

また、12月12日(日)には、その後シラカシの種をたくさん拾って届けてくれた方の分もポット蒔きにし、畑の土をかけ、「芽が出るー！」のおまじないをして、作業を終えました。これからの寒さにも温かい稲わらの下で過ごし、来年には元気な芽を出してくれることでしょう。

